

共生・協働の地域社会づくり

NPO法人 風は南から
TEL 0993 (73) 5004

子どもたちの豊かな感性を地域で育む

NPO法人「風は南から」は、20代で大病を患い、生死をさまよったことがある下竹理事長が自身の経験から、「与えられた命を、次代を担う子どものために生かしたい」という思いを込めて、地元の同級生や商工会議所青年部のメンバーとともに平成20年に設立しました。

主な活動として、屋内で遊ぶことの多い地域の子どもたちを屋外に連れ出すため、遊休地を活用した小麦や蕎麦の植え付け体験などを実施しています。また、青年会議所と協力し、高校生を先生役に、小学生のペットボトルによる水ロケット作りなど、子どもたちの異年齢交流活動も行っています。

地域の一大イベントである「さつま黒潮きばらん海枕崎まつり」では、J.Tが主催している「ひろえば街が好きになる運動」に参加し、小学生が来場者のゴミを分別する活動を通して地域貢献しています。この活動で回収したペットボトルのキャップで、開発途上国の子どもたちにポリオワクチンを届けることができました。

これらのは活動は、市内の保育園や小学校、



ひろえば街が好きになる運動

青年会議所などさまざまな団体の協力も得られ、地域で温かく支えられています。子どもたちは活動を通じて、自然や仲間の大切さ、地域貢献活動の必要性に気付き、自分たちが地域の人たちから支えられているという実感を持ちながら、地域との関わりを深めています。

活動を通して成長する子どもたちの姿が、次の活動の原動力となっています。

今後は、遊休地を整備して、子どもたちが野外活動を思い切っってできる「わがまちダッシュ村」(仮称)をつくり、枕崎の豊かな自然を満喫してもらいたいと、下竹理事長の夢は膨らみます。

一方、情報機器販売業を営む下竹理事長のキャリアを生かして、子どもたちに対するIT教育にも力を入れています。安全なネット社会をつくり、全国に安心の輪を広げようという全国規模の出前講座である「e-ネットキャラバン」に協賛し、子どもたちがITの利便性と危険性の両面を知っ



イプシロン打ち上げにちなんだペットボトルロケットづくり

代表者からひとこと



しもたけ しげのり
理事長の下竹 重則さん

先人たちの経験や体験、伝統を次の世代に引き継ぐ架け橋になればと考えて活動しています。

た上で、インターネットを安全に使用するため必要な知識を学ぶ「e-ネット安心講座」を開催しており、平成25年度は南薩地域の小中学校10校で実施しました。また、保護者を対象に、LINEをはじめとするソーシャルネットワークサービスの安全対策を学ぶ講座も実施しています。「子どもたちが自分を守る力を身につけることと、それを大人がサポートすることが大切です」と下竹理事長は取り組みの趣旨を強調します。

NPO法人風は南からは、今日も、黒潮にのって、子どもたちの感性を優しく、そして温かく育む南風を届けます。



e ネット安心講座

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。